

第3回 飯山市基本構想審議会 顛末（要旨）

日時 平成29年12月1日（金）午後4時
場所 飯山市役所 4階 全員協議会室

1 開 会

事務局 企画財政課長

委員 出席者20名 欠席者3名

2 会長あいさつ

会長

12月に入りお忙しい中、基本構想審議会、ご出席いただきありがとうございます。後期基本計画の会議3回目である。前期のできたことできなかったことを含めて後期に活かしていくことが大事だと思う。それぞれの分野で意見を出していただき、後期基本計画に反映させていきたい。よろしくお願いします。

3 会議事項

飯山市後期基本計画策定に向けて

事務局から資料説明

前回、委員から資料の要望があった佐久平駅の関係資料を説明。
ひきつづき、全国の人口増対策の事例について紹介。

1) 後期基本計画 第1章から6章までの各施策（案）について

事務局より第1章から6章のまでの各施策（案）について説明。
各章のなかで、修正、追加する部分については「赤字」で表示、削除する部分は、二重取り消し線で表示。

会長 施策（案）について説明いただいた、第1回目、2回目のみなさんのご意見を反映していると思います。そのようなことを確認していただきたい。

委員 目標値について、具体的なものとそうでないものがあるがどうか。

事務局 具体的な数値を入れられるものについては、なるべく入れていく。

2) 後期基本計画 重点プロジェクトについて

重点プロジェクトの説明に入る前に、5歳刻み or 10歳刻みの人口推計について事務局より説明。

事務局より後期基本計画 重点プロジェクト資料について説明。

会長 若者の人口を増やしていくということが掲げられているが、まず若者のみなさんからのご意見をお聞きしたい。
いろいろな分野あるが各委員さんの得意とする分野でもどこでもよいが、ご意見をいただきたい。

委員 若者会議でも、若い人を増やすためにどうするか話がでるが、第3子が生まれる割合や、今進めている婚活等の活動を進めていくなかでは、男性の参加がとても少ない。参加しやすいやり方を考えていきたい。
移住については、まずは飯山に来てみていただかないとだめだと思う。まずは来てもらう施策が大事だと思う。

委員 子どもたちが増えないといけない。子育て支援もいろいろやっていただいているが、そこで学校教育についてだが、高校は学区ということで、飯山の子どもが長野の高校へ通うこともあり、地元の子が地元の高校に入るような形になると良いと思うが。

委員 重点プロジェクトについては、このようなものでよいと思う。
子育て支援については、幼少の子どもたちへの支援に目が向きがちだが、子どもたちが社会人になる過程でのサポートがあれば故郷回帰につながるのではないかと考える。

委員 結婚年齢が上がってきている。そういったことも考える必要がある。

委員 飯山にくることになったきっかけは、森の家のモニターツアーに参加したことである。飯山の雪景色を見てきっかけになった。
田園とか畑があって古民家に憧れがある若者についてはとても響くのではないか。

委員 二世帯、三世帯同居が減っている。親と一緒に住まないで、どこかアパートへ入るようになる。木島地区は若者が増えているがアパートの方が多い。

若者の雇用と、住居環境、どのようにすれば住んでいただけるか。

委員 若い方が住むところが少ないということだが、飯山市に住みたいが手ごろな賃貸住宅（一戸建て）が少ないことも問題だと思う。
移住者向け住宅とすると、サンコープラスがあるが。
飯山に住み続けていくためには、一つの項目でなく全体的な底上げが必要だと思うが難しいと思う。

委員 飯山へ移住定住してくる方が増えている。飯山の生活文化等に魅力を感じている方だと思う。そういう方へ対しての支援が必要だと思う。
これからは農業と観光だと思う。

委員 やはり、まず飯山へ来ていただきたいきっかけ、気に入っていただき、リピーターになっていただく。そういったことが必要だと思う。

委員 斑尾では、オーストラリアの方が、空いている斑尾のペンションを購入している。
外国の方も増えているが、例えば飯山市にインターナショナルスクールを誘致して作ることができれば、首都圏から親と子ども両方移住してきて、移住にもつながっていくのではないかな。

委員 若者定住という視点からだが、郷土愛ということも必要だと思うが、飯山の魅力、移住された方の意見も聞いて、新しい文化を作って発信していくことが大事だと思う。

委員 食をテーマにした町おこしを飯山でも考えてほしい。高校と連携してやってみるのも良いと思う。

委員 計画書（案）の中で、地域中核医療の整備・支援という部分があるが、整備という部分はいらないのではないかな。
ピロリ菌検査、胃がんの原因といわれているものだが助成してやっていただいているが、この項目を載せていただければと思う。

委員 介護の関係だが、施設介護というものが当分の間は伸びていくと考えられる。そういった対応についても考慮していただければと思います。

委員 克雪・除雪の関係で、けだし除雪の部分などを入れたほうがよいのでは。

委員 町中の空き店舗増えている。どこか施設にまとめるなどの方法もあるのでは。

委員 二次交通の充実とは何か。

事務局 新幹線で来ていただいたあとの観光地へ送るための二次交通について便利にしていこうという内容である。時間的に待ち時間を無くしていくなど。

委員 現状、路線バスの本数は少ないと思うが、例えば市民限定でタクシーチケット500円分を配布という支援で飲んで帰るという部分を支援するのも良いのでは。

- 委員 まちなか観光、芸術文化によるまちづくり。こういったことも施策に盛り込んでいただきたい。私が20年前に飯山市へきて、芸術文化の方々の受け入れが素晴らしかった。芸術文化の種類は広いが、舞台上で発表する内容など若者方も増えている。
- 委員 飯山市には、正受庵、人形館、飯山城址等あるが、飯山シャンツェ、ジャンプ台についても素晴らしいと思っている。中国からも選手、訓練隊が飯山にきて練習している。この活用についても検討してほしい。
千曲川、川下りについても、中野市とも連携してイベントとして育ててはどうか。また、斑尾高原から廃村を回って飯山駅にいくツアーがあり、都会の方に人気だそうである。他にもルートあると思うのでこのツアーを増やしていくのも良いと思う。
- 委員 千曲川、良い観光要素だと思う。冬に屋形船などやればお客さんは必ず来ると思う。
- 委員 子ども達の学力向上も大事だが、ふるさと学習で自分たちのことを知る、不利益があっても頑張るって生きてくという考えを育てて行くというなかで、集団としてのある程度の規模、集団のなかで生きてく力を身に着ける場が必要だと思う。学校の適正規模というのは大事だと思う。
また、生きて働く英語教育が必要であると思う。これからの英語学習には、将来仕事に活かしていくような気持ちになるような部分が大切だと思う。
- 委員 市役所だけでなく、市民レベル、集落単位で、移住者を受け入れる体制に取り組むことが大事だと思う。
- 事務局 本日ご意見いただいた、重点プロジェクトについてもう少し具体化して次回お示ししていきたい。

3) その他

次回日程、第4回、平成29年12月22日（金）16：00を予定。

4 閉会

18：25終了。